

## 令和4年（2023年）度 学校関係者評価

1. 日時：令和5年3月17日（金） 14：00～15：00
2. 方法：WEB 会議（Zoom）
3. 学校関係者評価委員
  - ・ 国立病院機構別府医療センター 副院長
  - ・ 国立病院機構西別府病院 看護部長
  - ・ 学校法人後藤学園 藤華医療技術専門学校 学館長兼養成所長補佐
  - ・ 同窓会会長（大分県立看護科学大学教授）
4. 議事
  - 1) 令和4年度教員による自己点検・自己評価
  - 2) 令和4年度学生満足度評価
  - 3) 令和4年度学科教育での取り組み
  - 4) 令和4年度実習教育での取り組み
  - 5) 意見交換
5. 学校関係者による主な意見
  - 1) 令和4年度教員による自己点検・自己評価

カテゴリー		評価・意見など
VII	卒業・就職・進学	<p>【質問】</p> <p>○「VII. 卒業・就職・進学」の評価が低くなっている理由は何か。</p> <p>→（学校より）</p> <p>&lt;卒業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒業時については把握しているが、その後については分析ができていないため低い結果となっている。</li> </ul> <p>&lt;就職&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就職先については、国立病院機構に就職した者の卒業後の状況は情報収集できているが、他設置主体へ就職した卒業生についての情報収集や分析はできていないため、低い結果となっている。</li> </ul> <p>⇒（評価者より）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近年、学生が国立病院機構を選択しなくなっている。評価が低くなっている要因等を分析し明確な対策がでてくるとおもしろい。この対策への取り組み結果についてはフィードバックをお願いしたい。</li> </ul>
VIII	地域社会／国際交流	<p>【質問】</p> <p>○「VIII. 地域社会／国際交流」の評価が低くなっている理由は何か。</p> <p>→（学校より）</p> <p>&lt;地域社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域貢献活動としてボランティアを実施しているが、地域への情報発信や教育活動への取り入れる等ができておらず評価が低くなっている。</li> </ul> <p>&lt;国際交流&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「国際看護」の授業は入っているが、海外において看護職に就くための支援や留学生を受け入れる体制が整っていないことが低い結果となっている。</li> </ul>
IX	研究	<p>【質問】</p> <p>○「IX. 研究」の評価が低くなっている理由は何か。</p> <p>→（学校より）</p>

カテゴリー	評価・意見など
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の研究費助成金の補助や、研究の時間の確保は希望のより可能であるが、研究活動に取り組むための時間がほかの業務を優先して確保することができない状況があり、研究につながっていないことが低い結果となっている。</li> </ul> ⇒（評価者より） <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革とリンクしていると思う。教員の様々な業務を整理し教育効果を上げながら、教員自身が成長していけるよう支援する必要がある。</li> </ul>

## 2) 令和4年度実習教育での取り組み

内容	評価・意見など
実習指導者との連携・学習会	<p><b>【質問】</b></p> <p>○学校の中で、領域を超えた教員同士の連携、情報共有はどのようにされているか。学生を継続的に見ていくという点で取り組んでいることはないか。</p> <p>→（学校より）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の中で領域を超えた教員同士の連携については、実習指導において学習支援が必要な学生や態度が気になる学生については、一覧表を作成し、会議やミーティングで継続したかわりができるようにしている。</li> <li>・学生の学習状況によっては、新人教員や経験年数が浅い教員で対応が難しいような場合は、ベテラン教員や教育主事がフォローに入る等、学校全体で共有しながら支援している。</li> </ul> <p>⇒（評価者より）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導者との連携は、国立病院機構で附属養成所であるからこそ、取り組むことができる内容である。</li> <li>・実習指導者と学校の連携し取り組むことで、これだけの学生の学びがある。是非、継続をよろしく願いたい。</li> <li>・領域を超えた教員同士の連携（他の教員がどのような教育をしているか）等、情報共有をしっかりとやっていかないとよい学生は育っていかない。現在取り組んでいる取り組みについてはさらに力を入れ、よい看護師を輩出していきたい。</li> </ul>

## 3) 全体を通して

- ・閉校まであと2年。様々な課題について評価が上がるよう、しっかり取り組んでいきたい。

以上